

「進化し続ける“TOC” 最新情報国際シンポジウム」の開催

昨年9月米国(マイアミ)に開催された世界TOC大会(TOICCO)には、世界27カ国から約300人もものTOC実践コンサルタントが集結したことで分かりますように、TOCは世界中でかなりのスピードでその普及が進んでおります。日本でも、ようやく多くの企業でTOCの検討がされるようになりました。

このような世界の潮流を日本でも普及させる願いから、来る平成17年4月6～8日、東京ビッグサイトにおいて産業の活性化を目的の「センサー総合展」「総合試験展」「総合検査機器展」「国際セラミックス総合展」4展共通のシンポジウムとして、フジサンケイ ビジネスアイ(日本工業新聞社)、日本TOC推進協議会の主催により、

「進化し続ける“TOC” 最新情報国際シンポジウム」

を開催いたします。

今回は、基調講演として、米国のTOCのNO.1コンサルタントであるマーク・ウオッペル氏(Mark Woepel)を招聘し、「TOCによる会社の変革(Business Transformation with TOC)」について講演いたします。

同時に、日本の著名な製造コンサルタントの竹之内隆氏が、今や世界共通語となっている「カイゼン」にての持論を「カイゼン進化論 - J I T ~ T O C ~ S C Mへ」としてまとめた新刊書の出版記念として講演をしていただきます。

更に、日本のNO.1 TOCプラクティショナーである村上悟氏が指導した、「日立ツール株式会社のTOC導入事例」を発表いたします。

最後に、当日の講演者に日本のTOCをリードする村上悟氏、佐々木俊雄氏を加え、「ビジネスの仕組みを変え、利益追求型経営へ」と題して熱いパネル・ディスカッションを企画いたしました。

特に、TOCにご興味のある方に取りましては、最新のTOC情報を得る、又とない良い機会となりますので、多くの方々のご参加をお願い申し上げます。

定員になり次第、締め切りますので、お申し込みは、早めをお願いいたします。

尚、当シンポジウムの事前資料として、「日工フォーラム」に連載中のTOC特集記事を是非ともお読みください。(現在、本年1月号、2月号のみ掲載中)

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

主催:フジサンケイ ビジネスアイ(日本工業新聞社)

日本 TOC 推進協議会